

第一章

規定類纂第一編通規第三類經理抄本

第一章 通 則

○會社會計通則(明治四二、五)

改正 明治四五、六庶甲第二〇號 昭和二、一〇蓬甲第九〇號

第一條 本會社ノ會計ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ一箇年度トシ年度毎ニ決算スルモノトス

第二條 本會社ノ計算ハ資本勘定、損益勘定、積立金勘定及雜勘定ノ四種ニ區別シ更ニ業務ノ種類ニ依リ便宜區分整理スルモノトス

第三條 資本勘定ハ資金ニ屬スル收支ヲ整理スルモノトス

貯藏物品ハ資本勘定ノ所屬トス

第四條 財産ノ新設若ハ増設ノ費用及改良工事ニ依リ増加シタル價額ハ事業費トス

第五條 事業費ニ對シ受領シタル寄附金ハ資本勘定トシ建設資金ニ充テ財産トナルベキ寄附物件及寄附勞力ニ依リ建設シタル財産ハ見積價格ヲ以テ帳簿ニ記載スルモノトス

第六條 貯藏物品ハ受拂共購入實費ヲ以テ出納ヲ爲スモノトス

第七條 損益勘定ハ營業上ノ收支ヲ整理スルモノトス

第八條 營業ニ要スル諸般ノ經費、財産ノ維持保存ニ必要ナル復舊、補充及修繕費ハ營業費トス

第九條 資本勘定及損益勘定ニ關聯スル費用ハ當該年度ニ於ケル兩勘定ノ支出金額ニ應ジ按分シタル金額以内ヲ資本勘定ノ負擔ト爲スコトヲ得

第十條 積立金勘定ハ各種積立金ノ收支ヲ整理スルモノトス

第十一條 商法第百九十四條ニ依ル積立金ハ缺損補填ノ場合ニ非ザレバ之ヲ支消スルコトヲ得ザルモノトス

第十二條 財産ノ減滅、失權等ヨリ生ズル損失ヲ償却スル爲毎年度ノ利益金ノ内ヨリ相當ノ償却資金ヲ積立ツルモノトス

第十三條 政府ヨリ受クル補給金ニ對シテハ商法第百九十四條ニ依ル積立金ヲ爲サザルモノトス

第十四條 雜勘定ハ前記三勘定以外ノ收支ヲ整理スルモノトス

第十五條 株式ノ公賣又ハ社債ノ發行ニ因リ差損金ヲ生ジタルトキハ帳簿ノ記載ハ其ノ券面額ヲ以テシ差損金ヲ明示スルモノトス

第十六條 本會社ニ於テ他會社ノ株式又ハ社債其ノ他有價證券ヲ取得シタルトキハ帳簿ノ記載ハ買入又ハ拂込ノ金額ニ依ルモノトス

第十七條 財産目錄ニ記載スル財産ノ價額ハ左ノ標準ニ依ル
一 本會社所有ノ有價證券ハ購入代價又ハ拂込金額ヲ以テス其ノ市價低落シタルトキハ毎年度ノ終ニ於テ改定スベシ其ノ騰貴シタル場合ハ購入代價又ハ拂込金額ヲ限度トシ増加スルコトヲ得

二 本會社ニ於テ保管スル契約保證金及職員積立金代用ノ有價證券ハ會社ニ於テ定メタル價格ニ依ル

三 本則中他ノ事項ニ明記ナキ財産ハ實費決算額ヲ限度トシタル時價ニ依ル

第十八條 金錢又ハ物品ノ出納ハ總テ證書類ニ依ルモノトス

第十九條 金錢又ハ物品ヲ假ニ出納シタルトキハ假受又ハ假拂ト爲シ置キ遲滞ナク整理スルモノトス

第二十條 左ノ帳簿ヲ備ヘ置キ會社ノ勘定ヲ整理スルモノトス

- 一 總勘定元帳
 - 二 日記帳
 - 三 現金出納帳
 - 四 財産臺帳
 - 五 各種補助簿
- 第二十一條 毎月左ノ計表ヲ調製スルモノトス
- 一 總勘定月報
 - 二 事業費月報
 - 三 營業收支月表

○鐵道總局會計通則 (大同二年四月一日ヨリ施行ス)

(大同二年四月一日ヨリ施行ス)

鐵道總局會計通則左ノ通定メ大同二年四月一日ヨリ施行ス

鐵道總局會計通則

第一條 委託經營鐵道(水運並港灣ヲ含ム)ノ經營ニ在リテハ委託セラレタル資産ヲ以テ資本トシ其ノ收入ヲ以テ支出

- 第四條 損益勘定ハ第九條ニ定ムル科目ニ依リ之ヲ整理スベシ
- 第五條 雜勘定ハ貸借勘定、中間勘定、別途收支勘定ニ區分シ第九條ニ定ムル科目ニ依リ之ヲ整理スベシ
- 第六條 各勘定中第九條ニ於テ整理勘定ヲ定メタルモノハ之ニ依リ内譯ノ整理ヲ爲スベシ
- 第七條 勘定科目解疏ノ改廢ハ主要ナルモノヲ除キ經理部長ニ於テ之ヲ專行ス
- 第八條 帳簿及諸表ハ第九條ニ定ムル科目ニ依リ之ヲ整理スベシ
- 第九條 勘定科目ノ區分ハ別表ニ依ル(別表ハ別冊附録ニ掲載)

○事業費及營業費豫算變更認可ニ關スル件 (昭和二、九〇號)
(拓秘第二九〇號)

從來貴社事業費豫算中當該年度内ニ支出ヲ終ラザルモノハ翌年度ノ追加豫算トシテ又營業費決算額ガ認可豫算額ヲ超過シタル場合ハ當該年度營業費追加豫算トシテ何レモ政府ノ認可ヲ要スルコトト相成居候處爾今之ハ已ムヲ得ザル事情アル場合ニ限り決算ノ認可ト同時ニ豫算更正ノ認可ヲ爲シタルモノト看做シ其ノ手續ヲ省略スルコトト相成候條依命此段及通候候也

○南滿洲鐵道株式會社業務監督規程拔萃

(昭和一一、六、三〇 滿洲)
(第二〇〇號總理大臣命令)

南滿洲鐵道株式會社業務監督ニ關スル規程別紙ノ通定ム

(別紙)

南滿洲鐵道株式會社業務監督規程

- 第一條 南滿洲鐵道株式會社(以下會社ト稱ス)ハ左ノ場合ニ於テハ内閣總理大臣(以下大臣ト稱ス)ノ許可ヲ受クベシ
 - 一、附帶事業ヲ營マムトスルトキ(明治三十九年秘鐵第十四號(以下三大臣命令書ト稱ス)第四條)
 - 二、條約ニ基ク權利又ハ時價百萬圓以上ノ財産ヲ處分シ若ハ之ヲ擔保ニ供セムトスルトキ(三大臣命令書第二十二條)會社ハ左ノ場合ニ於テハ大臣ノ認可ヲ受クベシ
 - 一、總裁、副總裁、理事又ハ監事ノ退職手當ノ標準額ヲ變更セムトスルトキ
 - 二、社債ヲ募集セムトスルトキ又ハ株金ノ拂込ヲ爲サシメムトスルトキ(三大臣命令書第十八條)
 - 三、定款ヲ變更セムトスルトキ(三大臣命令書第十九條)
 - 四、事業計畫並事業費及營業收支ノ豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更シ(三大臣命令書第二十條)又ハ事業費豫算ノ豫備費ヲ以テ豫算外ノ費途ニ充テムトスルトキ
 - 五、資金計畫ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
 - 六、決算及利益金ノ處分ヲ決定セムトスルトキ(三大臣命令書第二十條)

- 七、事業費豫算ノ著シキ膨脹ヲ來ス義務ヲ負擔セムトスルトキ
 - 八、會社外ノ事業ニ對シ左ノ何レカニ該當スル投資（貸付、株式ノ引受等）ヲ爲サムトスルトキ
 - (イ) 日滿經濟統制上重要ナル投資
 - (ロ) 滿洲外ニ對スル重要ナル投資
 - (ハ) 金額百萬圓以上ノ投資
 - 九、他ノ會社其ノ他各種企業者ニ對シ債務ヲ保證セムトスル場合ニ於テ其ノ債務保證額ガ百萬圓以上ナルトキ
十及十一(缺)
- 會社ガ事業費豫算ヲ翌年度ニ繰越シ若ハ營業收支豫算ヲ變更シ又ハ之ニ基キ資金計畫ヲ變更セムトスル場合ニ於テ已ムヲ得ザル事情ニ依リ前項第四號及第五號ニ依ル認可ヲ受クルコト能ハザリシトキハ當該年度ノ決算ノ認可ヲ以テ其ノ認可アリタルモノト看做ス
- 第二條 會社ハ左ノ場合ニ於テハ滿洲國駐劄特命全權大使（以下大使ト稱ス）ノ許可ヲ受クベシ
重要ナル權利及財産ヲ處分シ又ハ之ヲ擔保ニ供セムトスルトキ（三大臣命令書第二十二條）但シ前條第一項第二號ニ依ルモノヲ除ク會社ハ左ノ場名ニ於テハ大使ノ認可ヲ受クベシ
一乃至三(缺)
 - 四、臨時費、補助費及産業助成費ヲ豫算額ヲ超過シテ支出セムトスルトキ
 - 五、會社外ノ事業ニ對シ重要ナル投資（貸付、株式ノ引受等）ヲ爲サムトスルトキ但シ前條第二項第八號ニ依ルモノヲ除ク
 - 六、他ノ會社其ノ他各種企業者ニ對シ五十萬圓以上ノ債務ヲ保證セムトスルトキ但シ前條第二項第九號ニ依ルモノヲ除ク

ヲ除ク

七乃至九(缺)

第三條乃至第五條(缺)

第六條 會社ハ左ノ届出又ハ報告ヲ爲スベシ

- 一乃至五(缺)
 - 六、營業費各款ノ金額ヲ彼此流用シ又ハ豫備費ヲ以テ豫算ノ不足ヲ補充シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ其ノ都度直ニ之ヲ届出ヅベシ
 - 七、(缺)
 - 八、總勘定月表ハ資本勘定、雜勘定及損益勘定ニ區別シ各科目ノ毎月ノ收支ヲ記載シ又期末ノ分ニハ各假收支科目ノ内譯表ヲ添附シ翌月中ニ之ヲ提出スベシ
 - 九、事業費別表ハ毎月ノ分ハ款項ニ區分シ期末ノ分ハ款項目節ニ區分シテ記載シ翌月中ニ之ヲ提出スベシ
 - 十、營業收支月表ハ前號ニ準ジ之ヲ提出スベシ
 - 十一、每期ノ營業報告書ハ株主總會終了後速ニ之ヲ提出スベシ
 - 十二乃至十四(缺)
- 第七條 會社ガ大臣ニ提出スベキ書類ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外總テ大使ヲ經由スベシ但シ第一條第二項第二號ニ依ル社債募集ノ認可申請ニ關スル書類ハ直接之ヲ大臣ニ提出スルコトヲ得

○滿鐵監督規程改正ニ關スル件(昭和二年、七、一八 關交第五〇七號ノ二關東局總長ヨリ總裁宛通牒)

首題ノ件ニ關シ客月三十日附滿殖第二〇〇號ヲ以テ内閣總理大臣ヨリ貴社宛別途通達有之候處右規程第二條第二項第四號ノ臨時費及補助費ハ貴社勘定科目中總務經費ニ屬スルモノノミニ限ル儀ト御了知相成度依命及通牒候也

○計算證明規程拔萃(大正一、二、三 會計検査院達第一號)

改正
大正二年第二號
昭和二年第二號
昭和五年第二號
昭和六年第一號
大正一五年第一號
昭和五年第一號

計算證明規程

第一章 總則

- 第一條 計算書ハ改描塗抹ヲ爲スベカラズ若誤記脱字等ニ因リ訂正ヲ爲シタルトキハ二線ヲ畫シ之ニ捺印スベシ
- 第二條 證憑書類ハ原本ニ限ル若シ原本ヲ提出シ難キトキハ當該主任者ノ保證アル謄本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 外國文ヲ以テ記載シタル證憑書類ニハ譯文ヲ附スベシ但シ會計検査院ノ承認ヲ經タルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 第三條 外國貨幣ヲ基礎トシ又ハ外國貨幣ヲ以テ收支ヲ爲シタルモノハ換算ニ關スル書類ヲ添附スベシ但シ別ニ定メアル外國貨幣換算價格ニ依リタルモノハ證憑書類ニ其ノ換算價格ヲ附記シ本文ノ書類ヲ省略スルコトヲ得

- 第四條 證憑書類中既ニ他ノ計算證明上提出濟ノモノアルトキハ其ノ旨計算書ノ備考ニ記載スベシ
- 第五條 乃至第七十九條(省略)

第十章 團體諸營造其ノ他ノ決算

- 第八十條 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル團體及諸營造並法律勅令ニ依リ特ニ會計検査院ノ検査ニ屬セラレタルモノハ會計検査院ノ指定ニ從ヒ第十八號書式又ハ特ニ定ムル書式ニ依リ毎年度收支計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ公共團體ニ在リテハ出納閉鎖期經過後一箇月其ノ他ニ在リテハ決算期經過後三箇月限之ヲ提出スベシ但シ會計検査院ニ於テ特ニ指定シタルモノハ毎月又ハ年數回ニ收支計算書ヲ調製シ翌月限之ヲ提出スベシ前項ノ收支計算書ハ會計検査院ノ指定ニ依リ又ハ其ノ承認ヲ經テ商法第二百八十一條若ハ有限會社法第四十三條其ノ他法令ノ規定ニ依リ作成シタル貸借對照表 損益計算書等ヲ以テ代用スルコトヲ得

第八十一條 收支計算書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ但シ會計検査院ノ指定シタルモノハ別ニ之ヲ提出スベシ

- 一 補助金又ハ特約保證ニ關スル申請書、命令書及計畫書
- 二 命令書ノ定ムル所ニ依リ特ニ政府ノ許可又ハ認可ヲ經若ハ更正ヲ命ゼラレタルモノアルトキハ其ノ書類
- 三 收支豫算書

四 公共團體ニ在リテハ決算報告書會社ニ在リテハ商法第二百八十一條又ハ有限會社法

第四十三條ニ依ル書類其ノ他ノ法人ニシテ法令ノ規定ニ依リ財産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成スルモ

ノニ在リテハ此等ノ書類其ノ他ニ在リテハ決算明細書及財産目錄

左ノ補助又ハ特約保證ニ對シテハ前項ノ外各書類ヲ添附スベシ

一 關東州地方費ニ在リテハ水道電氣其ノ他之ニ類スル事業ノ損益仕譯書

第一章 通則

- 二 航路補助ニ在リテハ各航路別收支明細書
 - 三 航路及航空輸送補助ニ在リテハ各線路別收支明細書
 - 四 南滿洲鐵道株式會社ニ在リテハ諸勘定内譯書
 - 五 鐵道補助ニ在リテハ收支計算書附屬仕譯書
- 第八十二條 證憑書ハ左ノ如シ但シ會計檢査院ノ指定ニ從ヒ之ヲ提出スベシ
- 一 契約書、決議書其ノ他收支ノ事實ヲ證明スベキ書類
 - 二 工事ノ補助ニ在リテハ前號ノ外設計書、圖面、直營工事ニ係ル竣功報告書、竣功認定及殘餘金處分ニ關スル書類
 - 三 災害土木費補助ニ在リテハ一位單價表及工事箇所別明細書

附 則

本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ大正十一年三月以前ノ月證明並大正十年度以前ノ年證明ニ係ルモノハ從前ノ規程ニ依ル

(第十八號書式)

(表 紙)

昭和何年度(自何年4月 至何年3月)

收 支 計 算 書

證憑書何冊
何々々

應 名(何々)
職名(何々)氏名印
年月日提出

貸 方			備 考	借 方		
前期越高	當期分	期末現計		摘 要	金 額	備 考
円 0	円 0	円 0		資 本 勘 定	円 0	
0	0	0		株主未済資本	0	
0	0	0		貸付金	0	
0	0	0		定期償還貸付	0	
0	0	0		預ケ金	0	
	0			別口當座預ケ	0	
	0			所有物	0	
0	0	0		土地	0	
0	0	0		土木	0	
0	0	0		何	0	
0	0	0		何	0	
0	0	0		損益勘定	0	
0	0	0		俸給及諸	0	
0	0	0		營業業	0	
0	0	0		營事利	0	
0	0	0		給費費息計	0	
0	0	0		合 計	0	

○會計検査院提出收支計算書添附書類 (昭和一五、九普第一六一號)
會計検査院長達)

昭和十五年年度以降毎年度收支計算書提出ノ際左記書類添附相成度候也

- 一 事業説明書
- 二 收支豫算決算對照表
- 三 滿洲國鐵道建造請負明細書
- 四 滿洲國鐵道關係借款額増減及現在高内譯明細書但シ各線別其ノ他事項別トスルコト
- 五 補助金又ハ補助費明細書
- 六 財産除却及減價償却明細書 (負擔科目別ニ作成スルコト)
- 七 年度末現在保證債務表 (年度内増減ヲ備考ニ記載スルコト)
- 八 年度中保證債務代位辨濟明細表
- 九 貸付金ノ回收狀況及債務者ノ事業成績概要
- 一〇 年度末現在關係會社(投資貸付)事業成績書及營業報告書

○保證債務事務取扱ニ關スル件 (昭和三五、三五七)
經庶文三〇第三五號)

會社ガ保證債務ヲ爲ス場合ニ於ケル事務管掌事項ヲ左ノ通決定セリ

- 一 各箇所ハ保證債務ニ關シ左ノ事務ヲ管掌ス

- イ 保證債務ニ關スル經伺起案ニ關スル件
- ロ 保證契約ノ締結又ハ解除手續ニ關スル件
- ハ 保證社債券發行ニ關スル件
- ニ 保證債務ヲ爲シタル事業ノ監督考査ニ關スル件
- 二 經理部會計課ハ保證債務ニ關シ左ノ事務ヲ管掌ス
- イ 保證狀ノ發行及回收ニ關スル件
- ロ 手形ニ關スル裏書又ハ引受ニ關スル件
- ハ 保證契約書及擔保物件ノ保管ニ關スル件